

MC3000 管理者用 リファレンス マニュアル

NTTテクノクロス株式会社

目次

1. 本書の目的.....	2
2. ハードウェアについて	3
2.1. 外観、ボタン、ポート.....	3
2.2. ハードウェアの仕様	4
3. 初期登録された Windows ユーザーについて	5
3.1. MC3000 管理者(admin).....	5
3.2. 踏み台利用者(user01、user02、user03).....	5
3.3. 再起動管理者(MC3000_SYSUSER)	5
4. MC3000 用クライアントプログラムの設定を変更する.....	6
4.1. パスワード.....	6
4.2. Proxy 情報.....	8
4.3. ホスト名	12
5. MC3000 の利用者を追加・変更・削除する.....	15
5.1. 利用者の追加・変更・削除	16
5.2. WOL サーバのバックアップ機能について	19
6. MC3000 の本体設定を変更する	22
6.1. 書き込み保護を解除する／書き込み保護に戻す手順.....	22
6.2. ディスプレイ設定	24
6.3. ネットワーク設定	28
6.4. 日付と時刻.....	32
6.5. Windows ユーザーのパスワード.....	36
7. 確認ツールを利用する	40
7.1. IP アドレス表示	40
7.2. ネットワーク検査.....	41
7.3. コマンドプロンプト	42
8. MC3000 を踏み台として利用する.....	43
8.1. リモートデスクトップ接続	43
8.2. SSH 接続	44
9. データを消去し廃棄する	45
9.1. 保存されるデータと消去方法	45
9.2. 廃棄方法	45
10. 付録.....	46
10.1. ライセンス情報 (PuTTY)	46

1. 本書の目的

WOL コントローラ「MC3000」は、社外から社内にあるオフィス PC の電源を遠隔で投入できる、マジックコネクト専用アプライアンスです。

本書では MC3000 のハードウェアや OS 情報、各種機能やツールの利用手順について説明します。

■ 禁止事項

以下に挙げる行為は、MC3000 が攻撃の踏み台にされるなど、セキュリティ面のリスクを生じさせます。

- 本書「6. MC3000 の本体設定を変更する」に記載されている以外の本体設定を変更する。
- MC3000 に新たなプログラムをインストールする。
- MC3000 の書き込み保護を解除した状態で運用する。

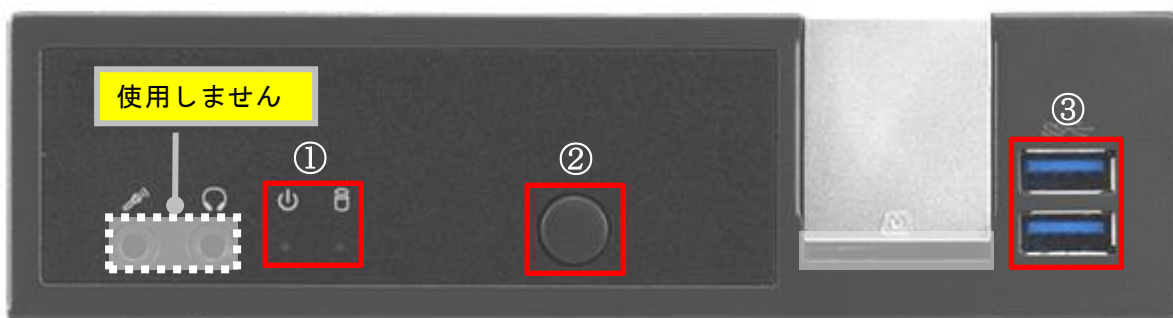
以上の禁止事項を実施した場合、MC3000 の利用により生じる直接的あるいは間接的な損害について、NTT テクノクロス株式会社は一切の責任を負いかねます。また無償保証や保守契約の対象外となります。

2. ハードウェアについて

本章では MC3000 ハードウェアの外観、仕様について説明します。

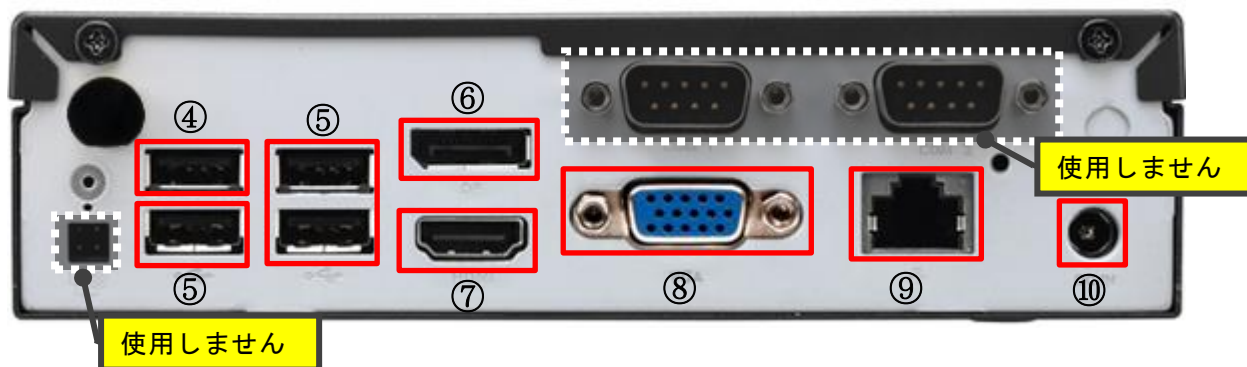
2.1. 外観、ボタン、ポート

前面



- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| ① LED ランプ(電源、データ読込/書き込み) | 電源用、データ読込/書込用 LED ランプです。 |
| ② 電源ボタン | 本体の電源をオン/オフするボタンです。 |
| ③ USB3.0 ポート×2 | USB マウス、USB キーボードを挿す USB ポートです。 |

背面



- | | |
|------------------------|------------------------------------|
| ④ USB2.0 ポート(USB メモリ用) | 「MC3000 専用 USB メモリ」を挿すポートです。 |
| ⑤ USB2.0 ポート×3 | USB マウス、USB キーボードを挿す USB ポートです。 |
| ⑥ DisplayPort 端子 | DisplayPort ケーブルを挿します。 |
| ⑦ HDMI 端子 | HDMI ケーブルを挿します。 |
| ⑧ アナログ RGB D-Sub15 端子 | アナログ RGB D-Sub15 ケーブル (VGA) を挿します。 |
| ⑨ LAN ポート | LAN ケーブルを挿します。 |
| ⑩ AC アダプタ差込口 | 付属品「AC アダプタ」を挿します。 |

2.2. ハードウェアの仕様

入出力端子	USB ポート	前面 USB3.0×2、背面 USB2.0×4
	DisplayPort 端子	1
	HDMI 端子	1
	アナログ RGB D-Sub15 端子	1
	LAN ポート	1
電源	4.6~17.6 W / AC100~240V (50~60 Hz)	
消費電力	約 24 W	
環境条件	0°C~40°C	
外形寸法	高さ 43mm x 幅 165mm x 奥行 190mm	
認証規格	FCC、CE、BSMI、RCM、VCCI、RED、PSE CB、BSMI、ETL、RoHS、Energy Star、ErP	
重量	約 1.3 kg	

3. 初期登録された Windows ユーザーについて

本章では MC3000 の出荷時に初期登録された Windows ユーザーについて説明をします。

3.1. MC3000 管理者 (admin)

MC3000 のメンテナンスを行うユーザーです。

※MC3000 管理者(admin)は追加登録できません。

※必要に応じてパスワードを変更してください。

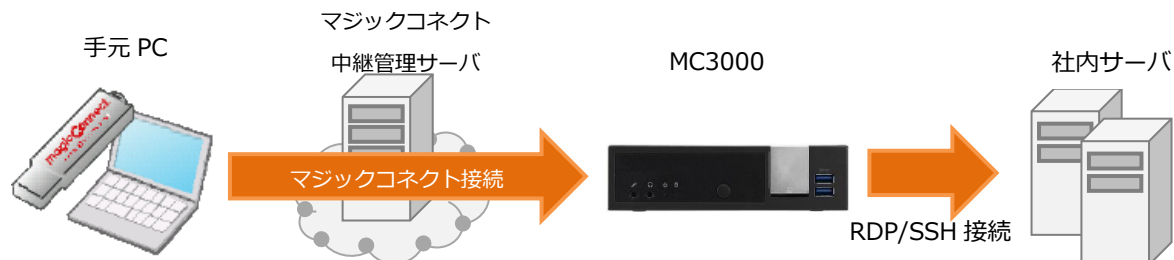
**なお、MC3000 管理者(admin)のパスワードが不明な場合、有償での初期化作業が必要となります。
変更後はお忘れになりませんようお願いします。**

3.2. 踏み台利用者 (user01、user02、user03)

MC3000 にアクセスし、MC3000 経由でリモートデスクトップ/SSH を使用して、社内サーバのメンテナンスを行うユーザーです。

※踏み台利用者は、登録・削除ができます。

※必要に応じてパスワードを変更してください。



3.3. 再起動管理者 (MC3000_SYSUSER)

MC3000 で使用する特殊なユーザーです。

MC3000 が正常に動作しなくなりますので再起動管理者の削除・変更はしないでください。

4. MC3000 用クライアントプログラムの設定を変更する

本章では MC3000 で使用している、クライアントプログラムの各種設定方法について説明します。

4.1. パスワード

MC3000 の対象機器専用アカウントのパスワード変更を行った場合、クライアントプログラムに設定しているパスワードを変更する必要があります。

本項目ではクライアントプログラムのパスワード変更手順について説明します。

- (1) MC3000 デスクトップ画面右下の通知領域に表示されているアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



Ver8.1r1 より前のマジックコネクト・ネオの場合は、こちらのアイコンが表示されます

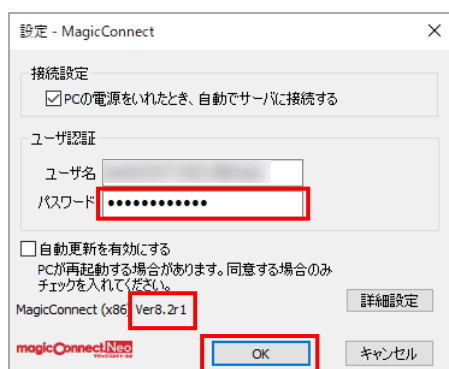


従来モデルの場合はこちらのアイコンが表示されます

- (2) クライアントプログラムのバージョンにより手順が異なります。

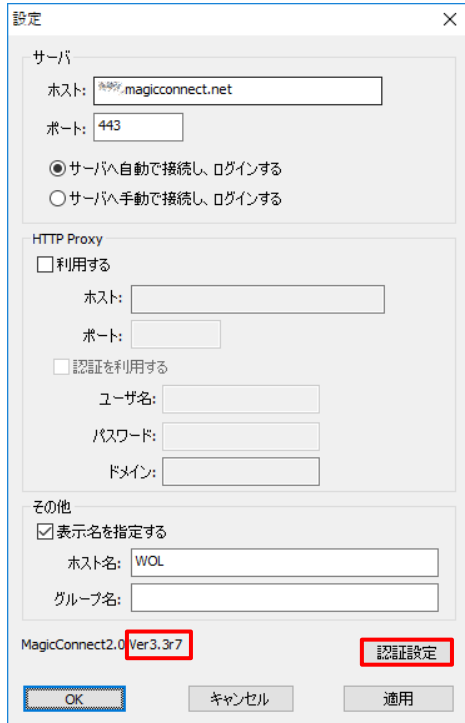
Ver7.0 以上の場合

- ① 設定画面の「パスワード」欄に新しいパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

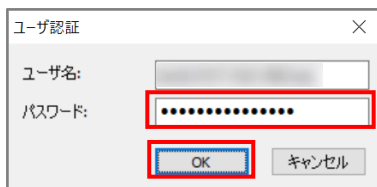


Ver7.0 より前の場合

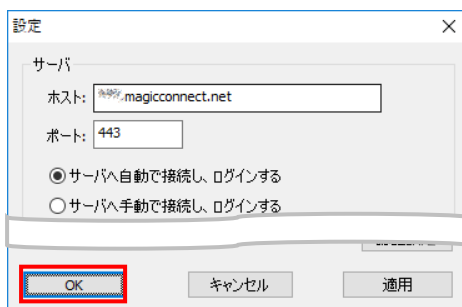
- ① 「認証設定」をクリックします。



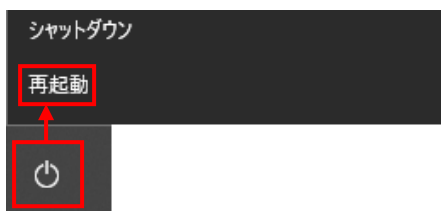
- ② 「パスワード」欄に新しいパスワードを入力し、「OK」をクリックします。



- ③ 設定画面の「OK」をクリックします。



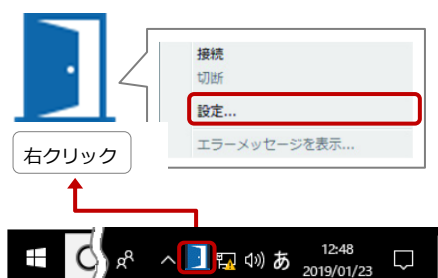
- (3) デスクトップのスタートから「再起動」を選択し、MC3000 を再起動します。



4.2. Proxy 情報

インターネット接続に Proxy を利用している場合、HTTP Proxy の設定が必要です。
本項目ではクライアントプログラムの HTTP Proxy 設定の変更手順について説明します。

- (1) MC3000 デスクトップ画面右下の通知領域に表示されているアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



Ver8.1r1 より前のマジックコネクト・ネオの場合は、こちらのアイコンが表示されます

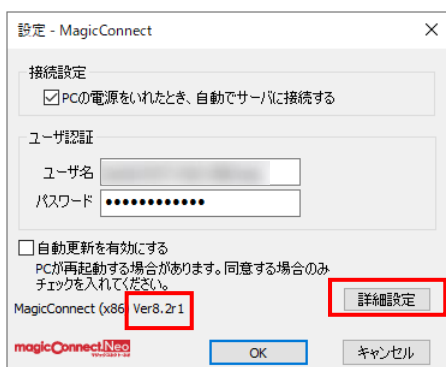


従来モデルの場合はこちらのアイコンが表示されます

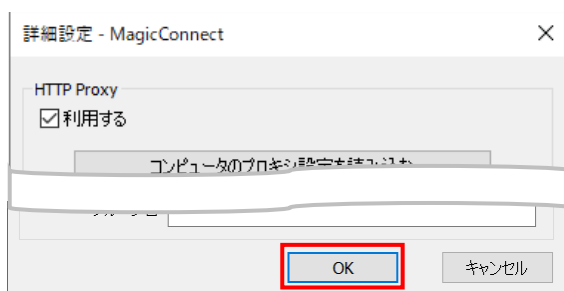
- (2) クライアントプログラムのバージョンにより手順が異なります。

Ver7.0 以上の場合

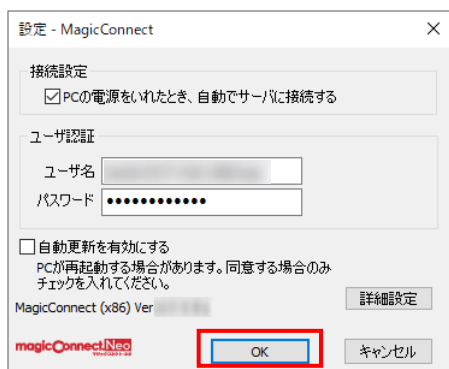
- ① 「詳細設定」をクリックします。



- ④ 「OK」 をクリックします。

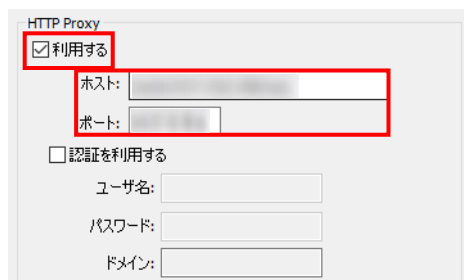


- ⑤ 「OK」 をクリックします。

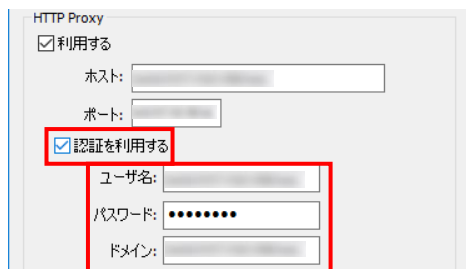


Ver7.0 より前の場合

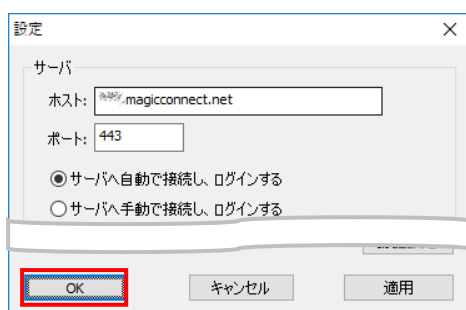
- ① 「HTTP Proxy」 の「利用する」にチェックを入れます。
利用している Proxy サーバの情報を入力します。



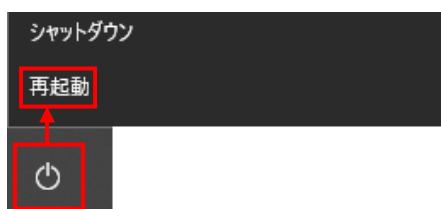
- ② Proxy サーバで認証を利用している場合、「認証を利用する」にチェックを入れ、下部にある「ユーザ名」「パスワード」欄に(必要な場合は「ドメイン」にも) Proxy の認証情報を入力します。



- ③ 「OK」 をクリックします。



- (3) デスクトップのスタートから「再起動」を選択し、MC3000 を再起動します。



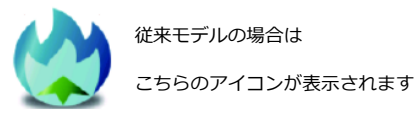
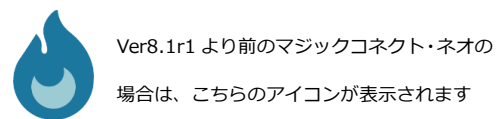
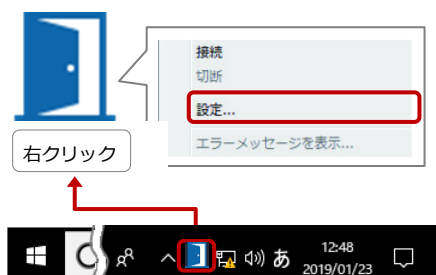
4.3. ホスト名

MC3000 はビューアプログラムの接続先一覧画面に「WOL」というホスト名で表示されます。

複数の MC3000 がある場合など、MC3000 を識別するために、一意なホスト名やグループ名を設定することができます。

本項目ではホスト名やグループ名の変更手順について説明します。

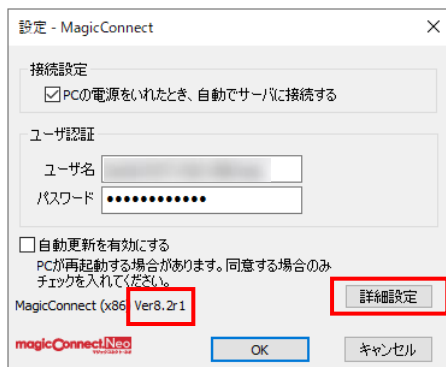
- (1) MC3000 デスクトップ画面右下の通知領域に表示されているアイコンを右クリックし、メニューから「設定...」を選択します。



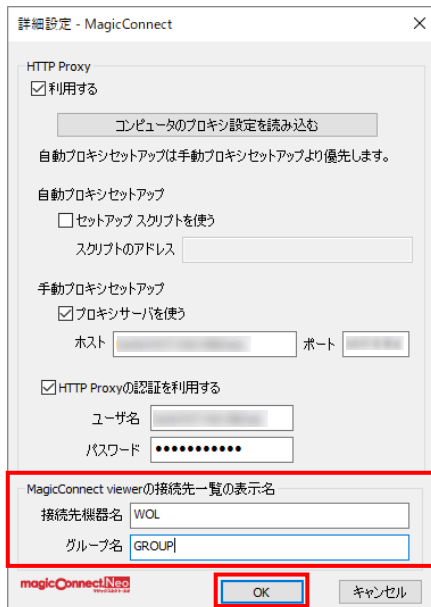
- (2) クライアントプログラムのバージョンにより手順が異なります。

Ver7.0 以上の場合

- ① 「詳細設定」をクリックします。



- ② 「MagicConnect viewer の接続先一覧の表示名」の「接続先機器名」、「グループ名」を変更して「OK」をクリックします。

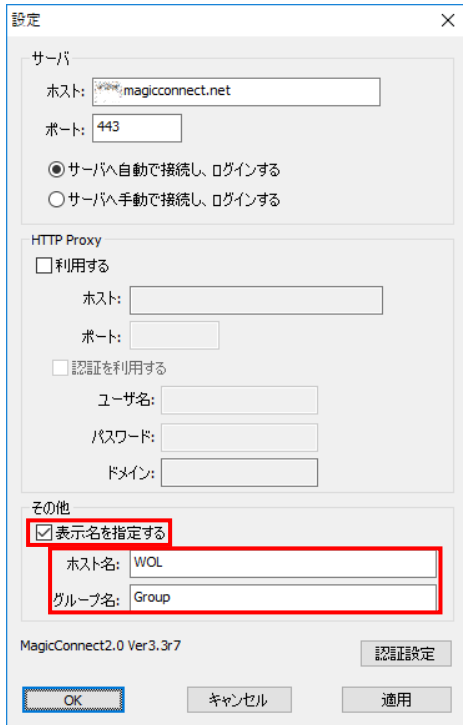


- ③ 「OK」をクリックします。

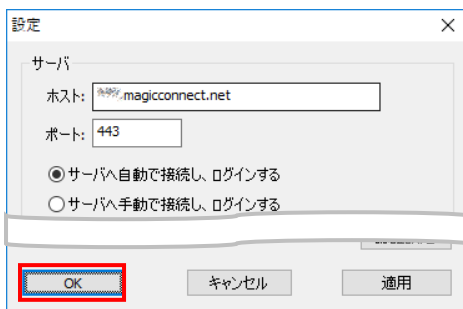


Ver7.0 より前の場合

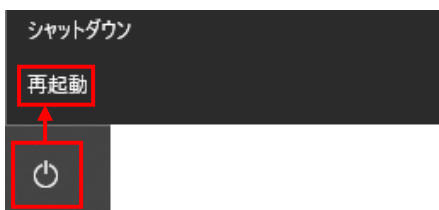
- ① 「その他」の「表示名を指定する」にチェックが入っていることを確認し、「ホスト名」、「グループ名」を変更します。



- ② 「OK」をクリックします。



- ③ デスクトップのスタートから「再起動」を選択し、MC3000 を再起動します。



5. MC3000 の利用者を追加・変更・削除する

本章では遠隔起動をする利用者情報を追加・変更・削除するための手順と、保存された利用者情報のバックアップについて説明します。

利用者の登録・変更をする場合、以下の情報が必要となります。

項番	画面項目名	説明	要件
1	対象 PC 名	WOL クライアントのメインウィンドウの一覧に表示される対象 PC 名です。 利用者が識別可能な名称を設定します。	1 文字以上の文字列(必須)
2	グループ名(任意)	WOL クライアントのメインウィンドウの一覧に表示されるグループ名を設定します。	1 文字以上の文字列 (任意、未入力も可)
3	パスワード	利用者が遠隔起動する際に使用するパスワードを設定します。	1 文字以上の文字列(必須)
4	対象 PC の MAC アドレス	利用者から収集した対象機器の MAC アドレスを設定します。	12 桁の MAC アドレス(必須)
5	ブロードキャストのアドレス	利用者から収集した対象機器のネットワークと、MC3000 のネットワークから計算したブロードキャストアドレスを設定します。	ブロードキャストアドレス(必須) 同一ネットワークセグメントの場合は「255.255.255.255」を設定します。

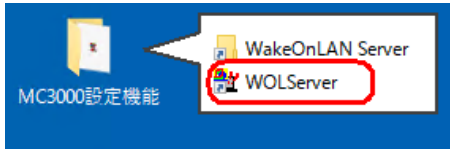
The screenshot shows a dialog box titled "PCの追加" (Add PC) with a close button (X) in the top right corner. Below the title is a section "追加するPCの設定" (Settings for adding PC). There are five numbered items, each with a red circle icon and a corresponding input field:

- ① 対象PC名 (Target PC Name): Input field containing "会社PC01".
- ② グループ名(任意) (Group Name (Optional)): Dropdown menu showing "部署01".
- ③ パスワード (Password): Password input field with 12 black dots.
- ④ 対象PCのMACアドレス (Target PC MAC Address): Input field containing "10-0F-1F-11-22-A1".
- ⑤ ブロードキャストのアドレス (Broadcast Address): Input field containing "255.255.255.255".

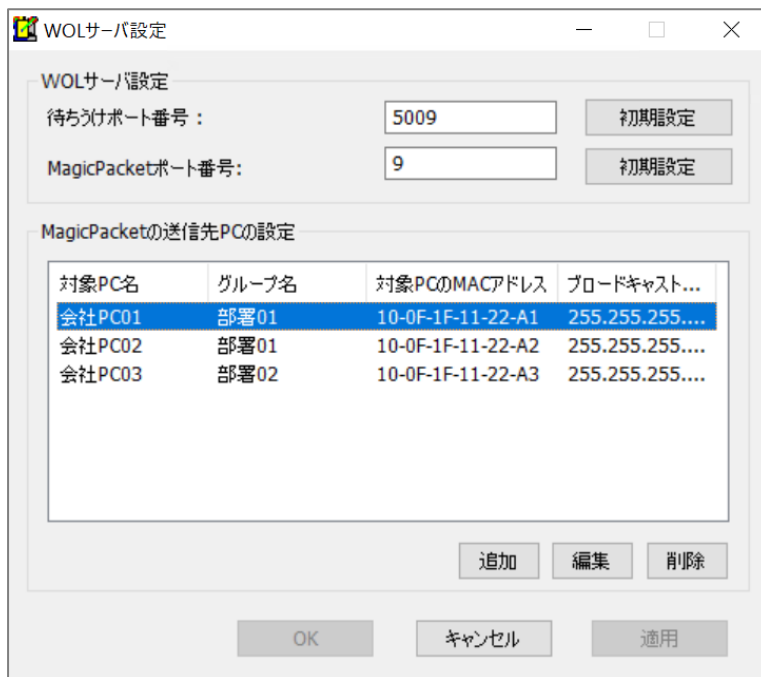
At the bottom of the dialog, there are two buttons: "設定" (Settings) and "キャンセル" (Cancel).

5.1. 利用者の追加・変更・削除

(1) デスクトップの「MC3000 設定機能」→「WOLServer」をダブルクリックします。

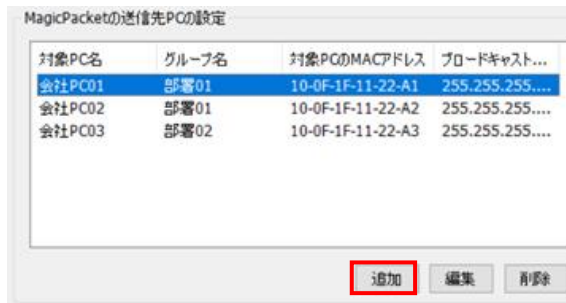


(2) 「WOL サーバ設定」画面が表示されます。

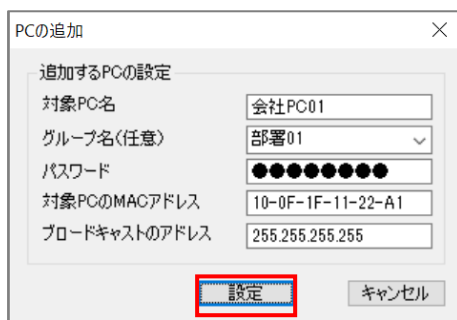


利用者を追加する場合

- ① 「追加」をクリックします。



- ② 遠隔起動させる PC の情報を登録し、「設定」をクリックします。

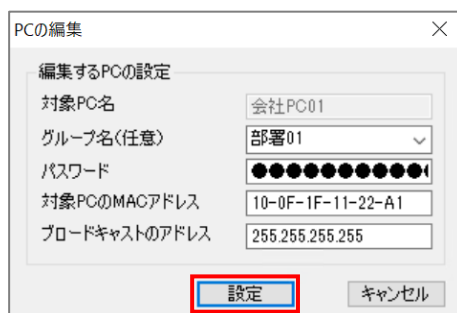


利用者情報を変更する場合

- ① 対象 PC を選択し、「編集」をクリックします。

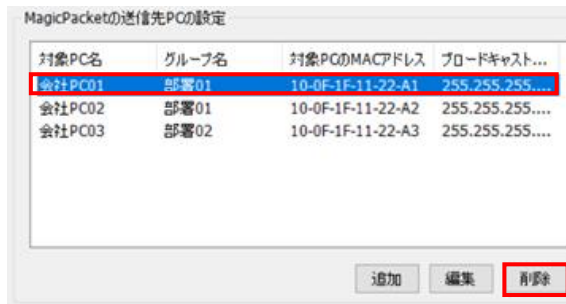


- ② 該当の箇所を変更し、「設定」をクリックします。

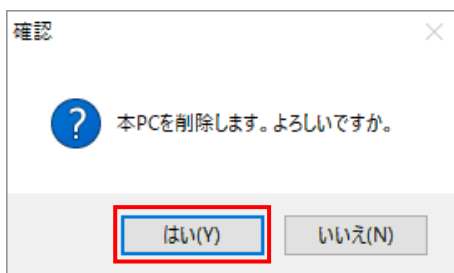


利用者を削除する場合

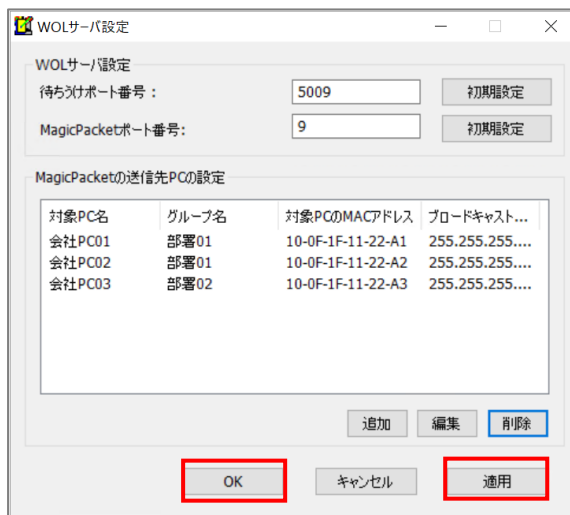
- ① 対象 PC を選択し、「削除」をクリックします。



- ② 「はい」をクリックします。



- (3) 変更後の内容が一覧に表示されます。この時点では、まだ保存されていません。



続けてユーザー情報を更新する場合は、「追加」・「編集」・「削除」をクリックします。
作業の途中で設定を保存する場合は、「適用」をクリックします。
更新を完了する場合は、「OK」をクリックします。

5.2. WOL サーバのバックアップ機能について

バックアップの仕組み

- (1) WOLServer プログラムは、設定が更新される都度、更新前の設定ファイルを MC3000 専用 USB メモリ内にバックアップします。

バックアップされた設定ファイルは、WOLServer プログラムが格納されているフォルダに、以下のファイル名で保存されます。

WOLs.bak.yyyyMMddhhmmss.fff

yyyyMMddhhmmss.fff は、ファイルがバックアップされた西暦年～ミリ秒を表します。

yyyy (西暦) MM (月) dd (日) hh (時) mm (分) ss (秒) .fff (ミリ秒)

例: WOLs.bak.20190204112411.588

2019 年 02 月 04 日 11 時 24 分 11.588 秒に、バックアップされたことを表します。

バックアップされた設定ファイルは最大で 10 世代分まで保存されます。

10 世代を超える場合、バックアップ日時の古いファイルから順に削除されます。

名前	更新日時
WOLServer	2012/05/25 14:13
license	2018/10/22 19:47
WOLs.bak.20190131180911.403	2019/01/31 18:09
WOLs.bak.20190205111756.774	2019/02/05 11:17
WOLs.bak.20190205112128.546	2019/02/05 11:21
WOLs.bak.20190205113317.793	2019/02/05 11:33
WOLs.bak.20190205113342.312	2019/02/05 11:33
WOLs.bak.20190205124651.543	2019/02/05 11:33
WOLs.bak.20190205124657.169	2019/02/05 12:46
WOLs.bak.20190205124800.472	2019/02/05 12:46
WOLs.bak.20190205124917.965	2019/02/05 12:48
WOLs.bak.20190228165831.233	2019/02/05 12:49
WOLs	2019/02/28 16:58

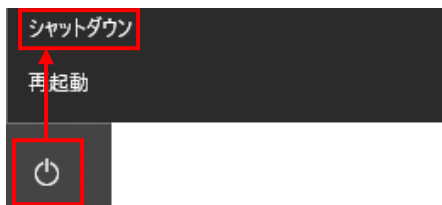
10 世代を超えると古いファイルから削除されます。

バックアップから復元する

バックアップされた設定ファイルから、設定を復元する手順を説明します。

本手順では USB メモリを編集するための PC を別途用意する必要があります。

- (1) MC3000 をシャットダウンします。



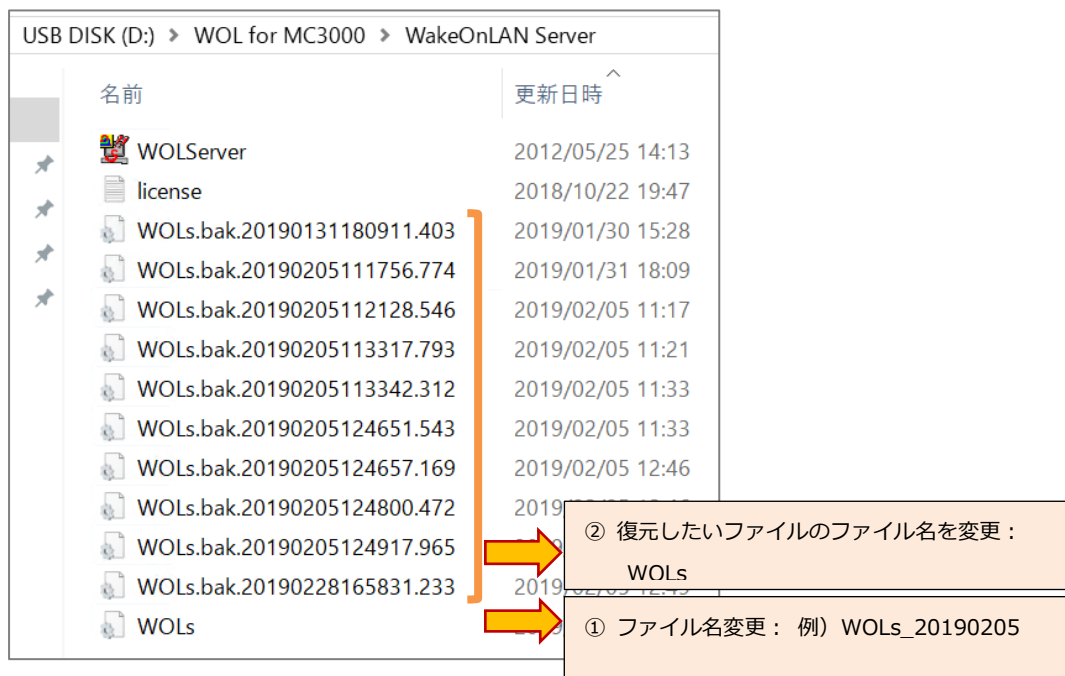
- (2) MC3000 から MC3000 専用 USB メモリを取り外し、別の PC に挿します。

- (3) MC3000 専用 USB メモリの下記フォルダを開きます。

USB メモリドライブ → 「WOL for MC3000」 → 「WakeOnLAN Server」

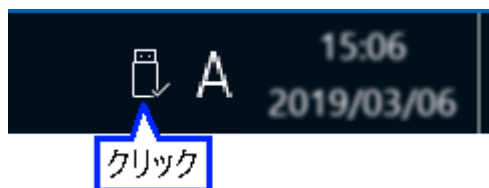
- (4) バックアップファイルを「WOLs」と置き換えます。

- ① 現在の設定ファイル WOLs をリネームします。
- ② 復元したい日にバックアップされた設定ファイルを「WOLs」にリネームします。



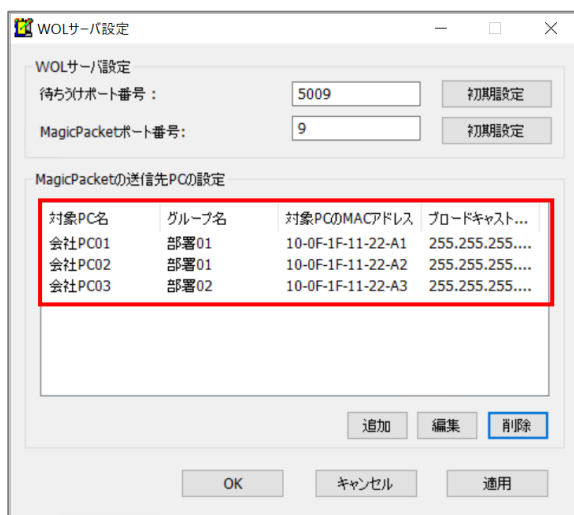
※拡張子は、非表示にしています。

- (5) MC3000 専用 USB メモリをハードウェアの安全な取り外しで取り外します。



- (6) MC3000 に MC3000 専用 USB メモリを差した後、電源ボタンを押して起動します。

- (7) サインイン後、WOL Server プログラムを起動して、正しく復元されているか確認をします。



6. MC3000 の本体設定を変更する

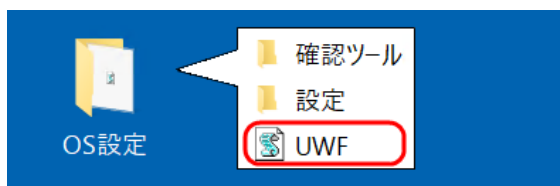
本章では MC3000 の本体設定を変更する手順について説明します。

6.1. 書き込み保護を解除する／書き込み保護に戻す手順

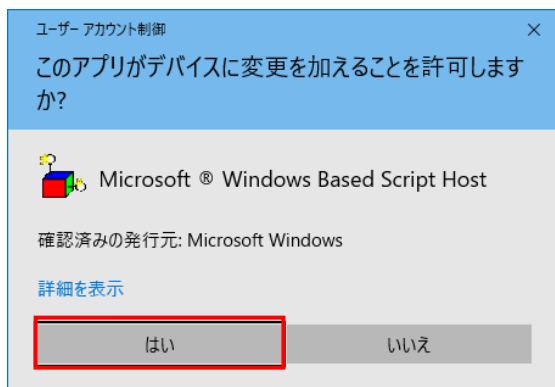
MC3000 は、書き込み保護機能(UWF)により、再起動すると変更前の状態に戻ります。
(クライアントプログラムの設定と、WOL サーバの設定を除く。)

MC3000 本体の設定を変更するため書き込み保護を解除する手順と、設定の変更後、書き込み保護に戻す手順について説明します。

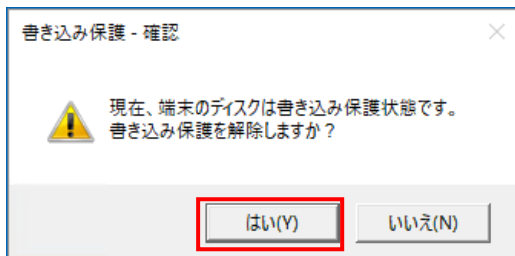
- (1) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



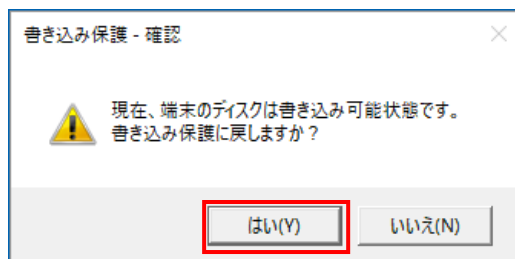
- (2) 「はい」をクリックします。



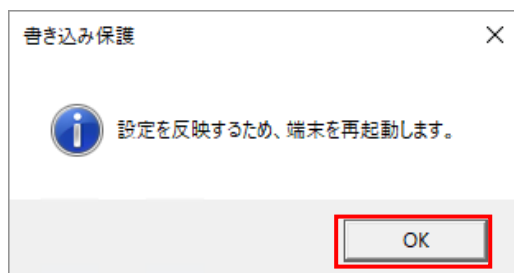
- (3) 書き込み保護がされている場合は、以下のメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、書き込み保護が解除されます。



- 書き込み保護が解除されている場合は、以下のメッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、書き込み保護に戻ります。



- (4) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



6.2. ディスプレイ設定

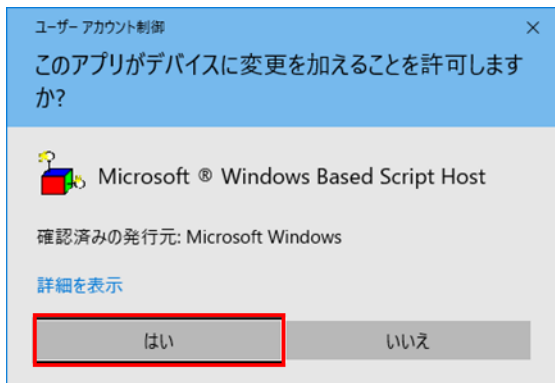
本項目では、冒頭で書き込み保護の解除を行います。

設定の際は必ず手順を最後まで実施し、書き込み保護に戻して終了してください。

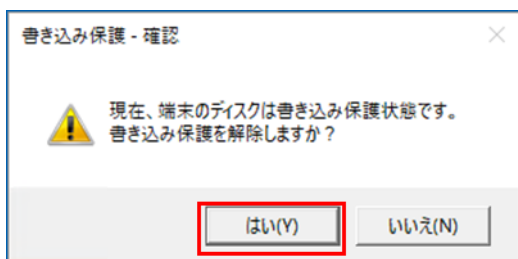
- (1) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



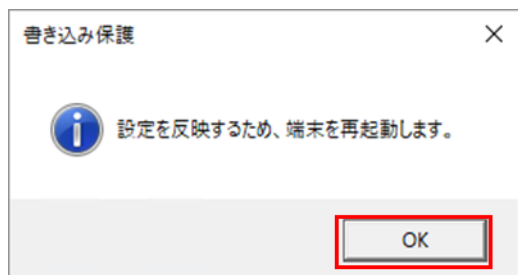
- (2) 「はい」をクリックします。



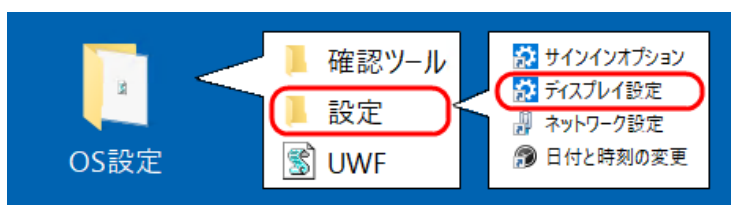
- (3) 「はい」をクリックして、書き込み保護を解除します。



- (4) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



- (5) デスクトップの「OS 設定」→「設定」→「ディスプレイ設定」をダブルクリックします。



- (6) 「ディスプレイの詳細設定」をクリックします。



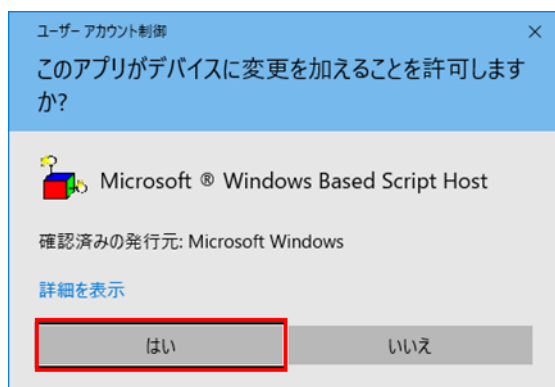
- (7) 「解像度」のプルダウンメニューで利用したい解像度を選択します。



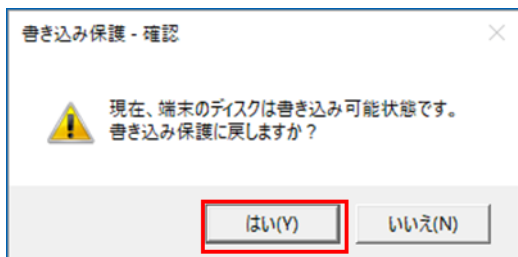
- (8) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



- (9) 「はい」をクリックします。



(10) 「はい」をクリックして、書き込み保護に戻します。



(11) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。

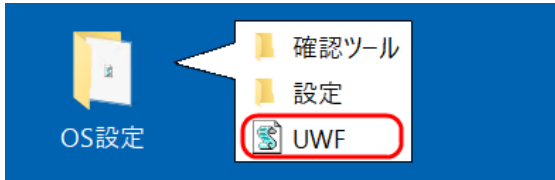


6.3. ネットワーク設定

本項目では、冒頭で書き込み保護の解除を行います。

設定の際は必ず手順を最後まで実施し、書き込み保護に戻して終了してください。

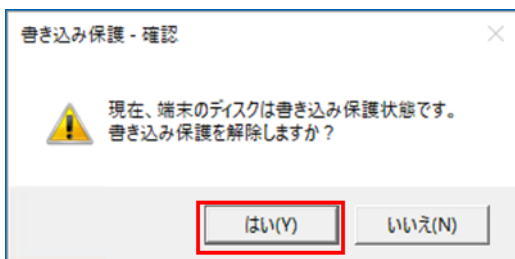
- (1) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



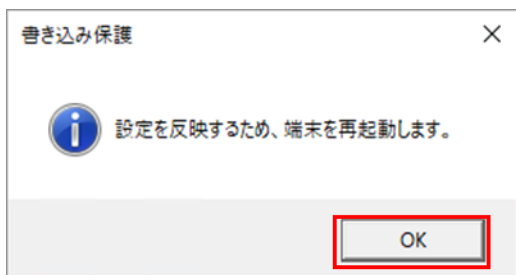
- (2) 「はい」をクリックします。



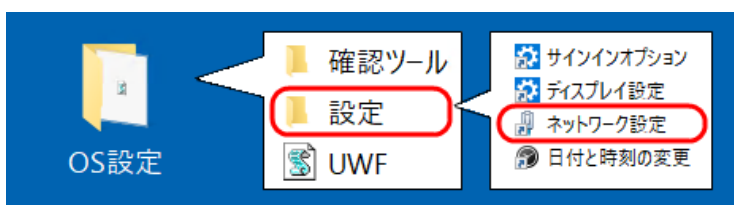
- (3) 「はい」をクリックして、書き込み保護を解除します。



- (4) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



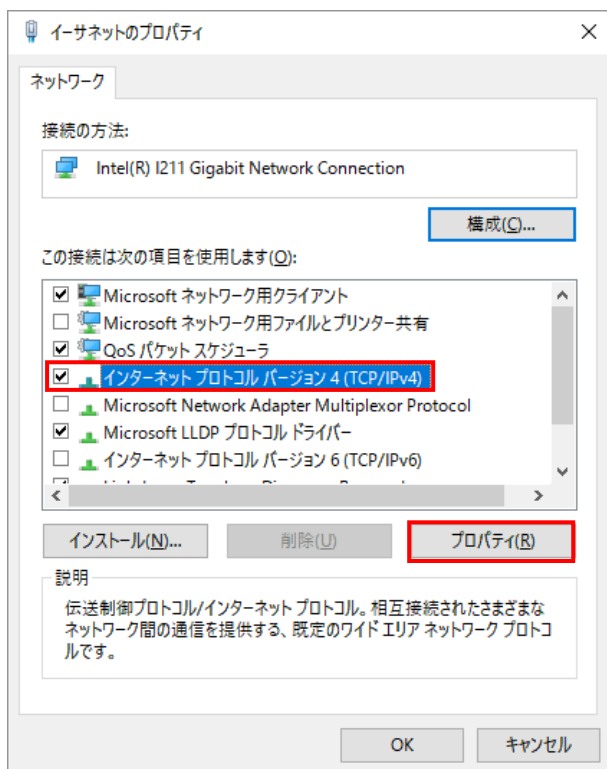
- (5) デスクトップの「OS 設定」→「設定」→「ネットワーク設定」をダブルクリックします。



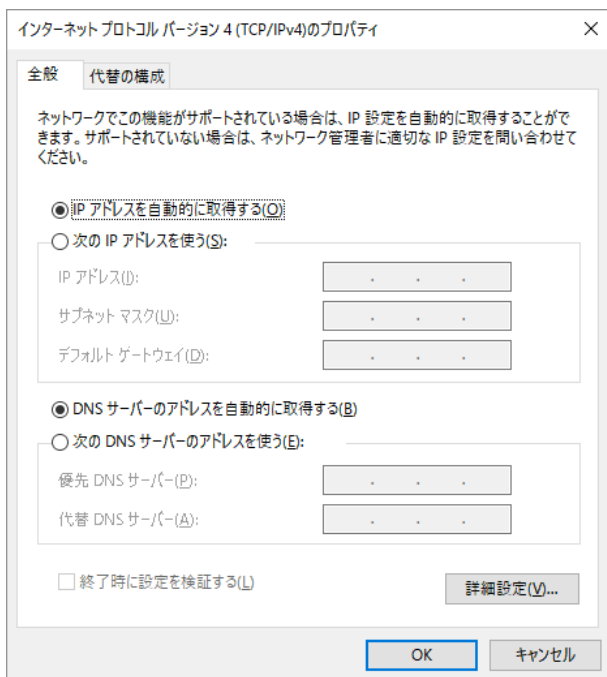
- (6) 「プロパティ」をクリックします。



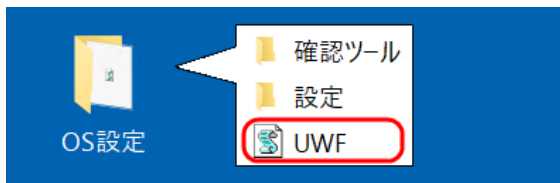
(7) 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」 → 「プロパティ」 をクリックします。



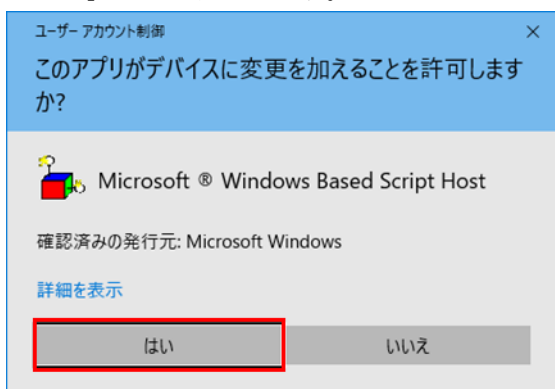
(8) ネットワーク設定を変更します。



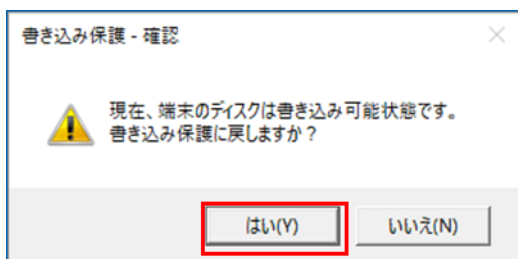
(9) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



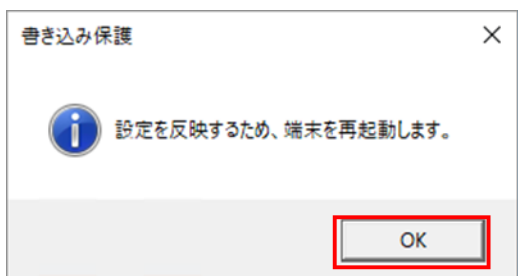
(10) 「はい」をクリックします。



(11) 「はい」をクリックして、書き込み保護に戻します。



(12) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



6.4. 日付と時刻

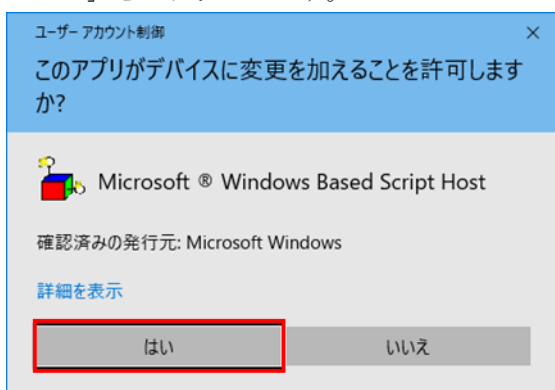
本項目では、冒頭で書き込み保護の解除を行います。

設定の際は必ず手順を最後まで実施し、書き込み保護に戻して終了してください。

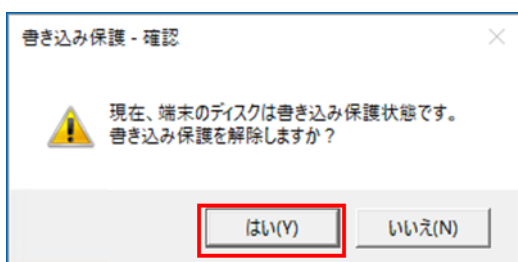
- (1) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



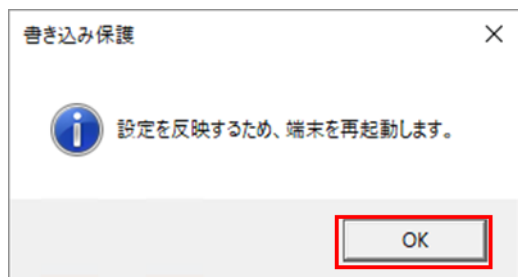
- (2) 「はい」をクリックします。



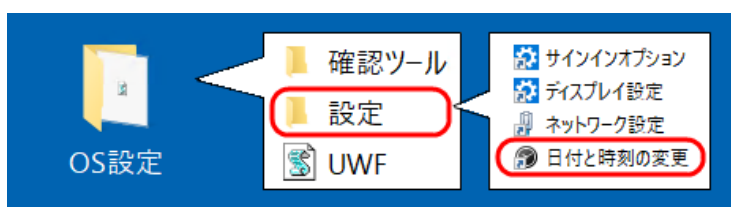
- (3) 「はい」をクリックして、書き込み保護を解除します。



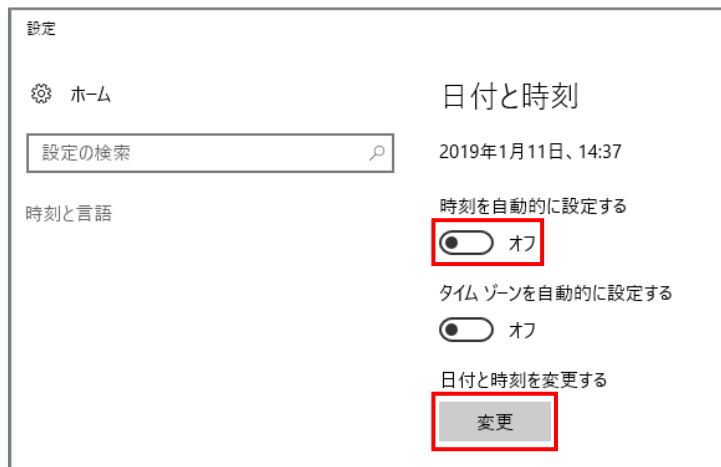
- (4) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



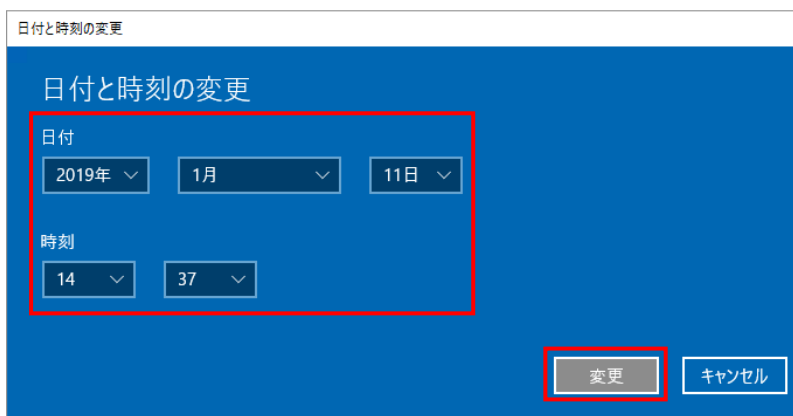
- (5) デスクトップの「OS 設定」→「設定」→「日付と時刻の変更」をダブルクリックします。



- (6) 「時刻を自動的に設定する」を「オフ」にし「変更」をクリックします。



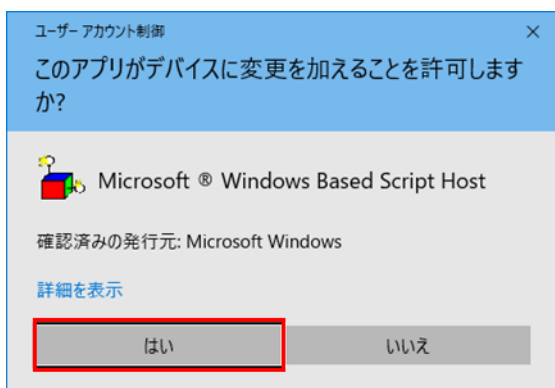
- (7) 日付と時刻を変更し、「変更」をクリックします。



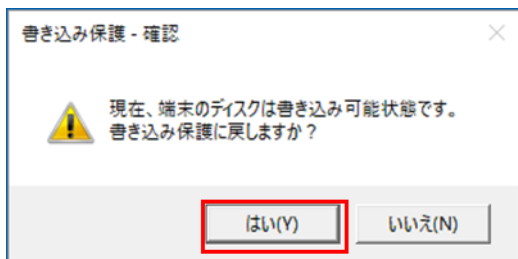
- (8) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



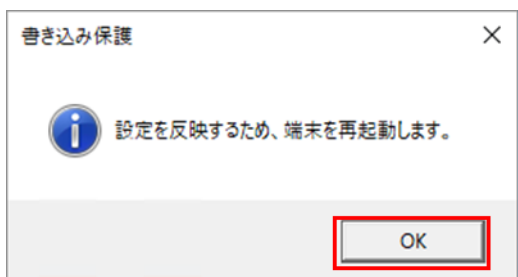
- (9) 「はい」をクリックします。



(10) 「はい」をクリックして、書き込み保護に戻します。



(11) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



6.5. Windows ユーザーのパスワード

■ 注意事項

MC3000 管理者 [admin] のパスワードが不明な場合、有償での初期化作業が必要となります。
変更後はお忘れになりませんようお願いします。

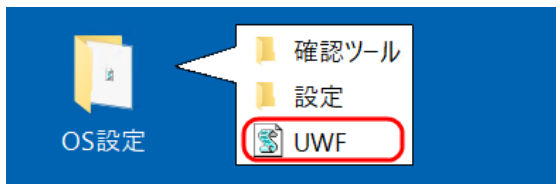
本項目では、冒頭で書き込み保護の解除を行います。

設定の際は必ず手順を最後まで実施し、書き込み保護に戻して終了してください。

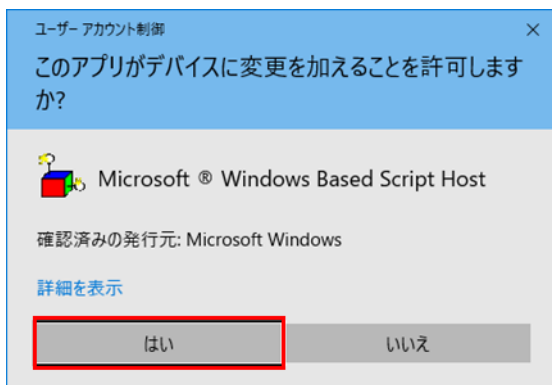
(1) パスワード変更する Windows ユーザーでサインインします。

- MC3000 管理者 [admin]
- 踏み台利用者 [user01] ~ [user03]

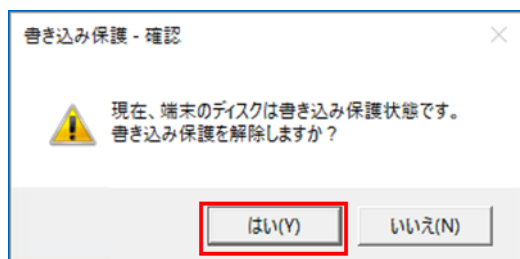
(2) デスクトップの「OS 設定」 → 「UWF」をダブルクリックします。



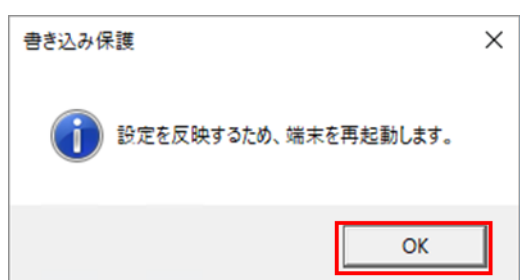
(3) 「はい」をクリックします。



- (4) 「はい」をクリックして、書き込み保護を解除します。



- (5) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



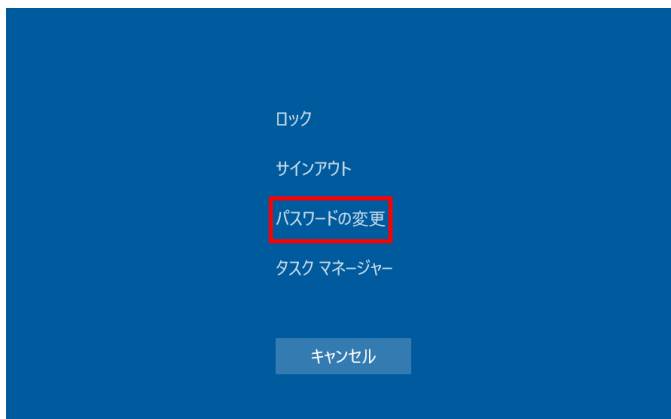
- (6) パスワード変更する Windows ユーザーでサインインします。

- MC3000 管理者 [admin]
- 踏み台利用者 [user01] ~ [user03]

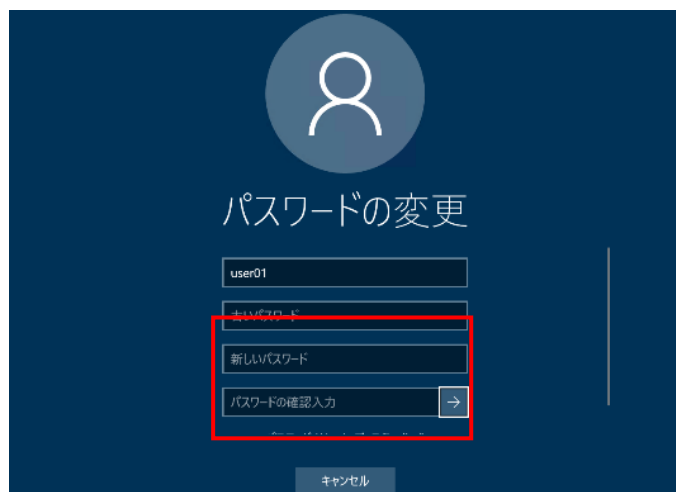
- (7) **ctrl + alt + delete** キーを押下し、Windows セキュリティ画面を表示します。

※リモートデスクトップ接続中は、**ctrl + alt + end** キーを押下します。

(8) 「パスワードの変更」を選択します。



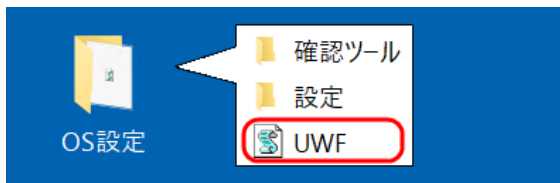
(9) 「古いパスワード」「新しいパスワード」「パスワードの確認入力」を入力し、矢印「→」をクリックします。



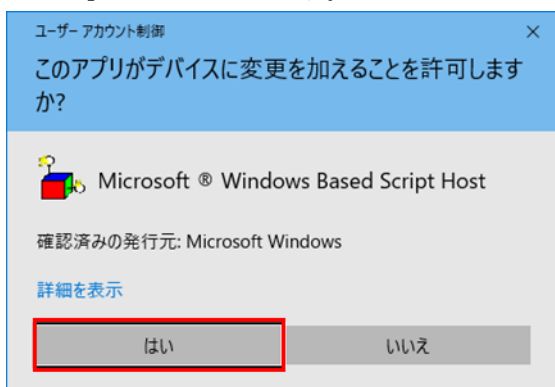
(10) 「OK」をクリックして変更画面を閉じます。



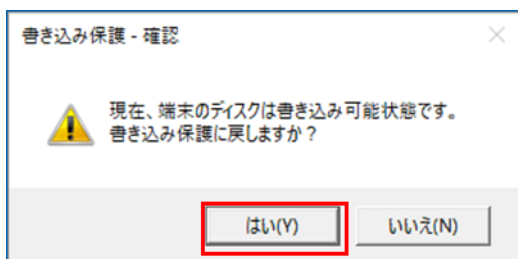
(1 1) デスクトップの「OS 設定」→「UWF」をダブルクリックします。



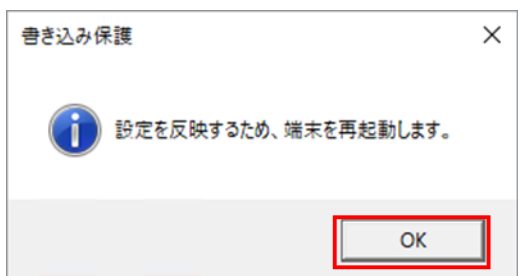
(1 2) 「はい」をクリックします。



(1 3) 「はい」をクリックして、書き込み保護に戻します。



(1 4) 「OK」をクリックし、端末を再起動します。



7. 確認ツールを利用する

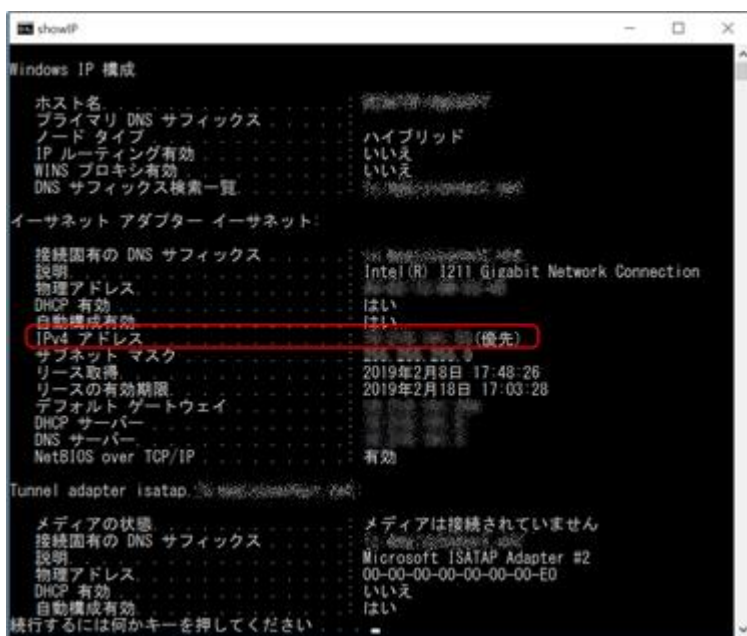
本章ではネットワークの確認をするツールについて説明します。

7.1. IP アドレス表示

- (1) デスクトップの「OS 設定」→「確認ツール」→「IP アドレス表示」をダブルクリックします。



- (2) MC3000 のネットワーク情報が表示されます。



7.2. ネットワーク検査

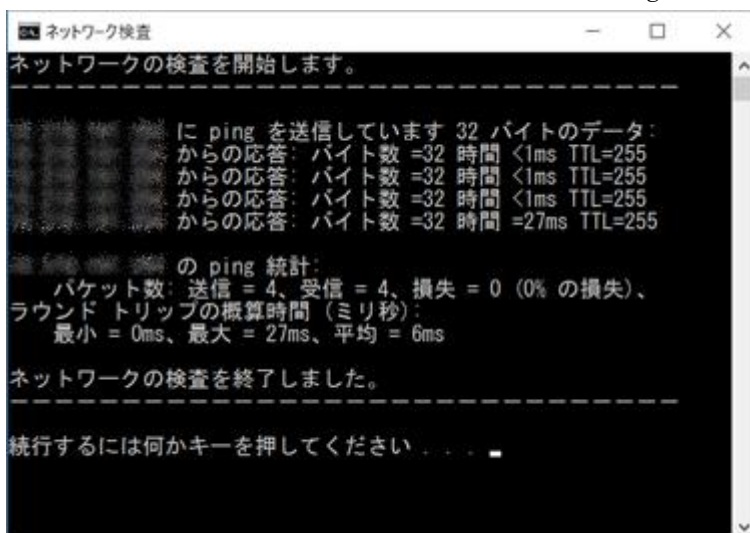
(1) デスクトップの「OS 設定」→「確認ツール」→「ネットワーク検査」をダブルクリックします。



(2) 表示された結果に応じて、ネットワークの状態を確認します。

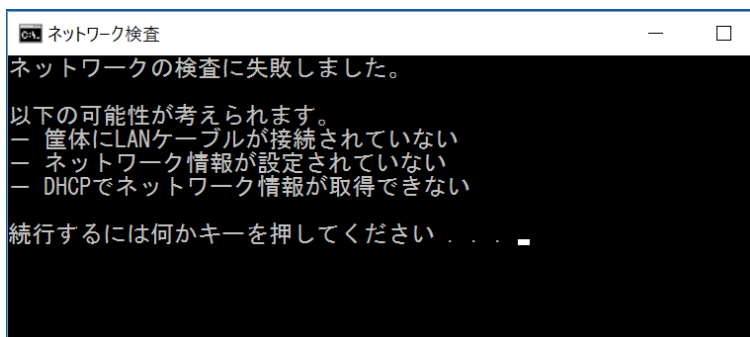
<正常な場合>

MC3000 に設定したデフォルトゲートウェイへの Ping 応答結果が表示されます。



<接続に失敗する場合>

画面に表記された内容を参考にして、ネットワーク状況を確認してください。



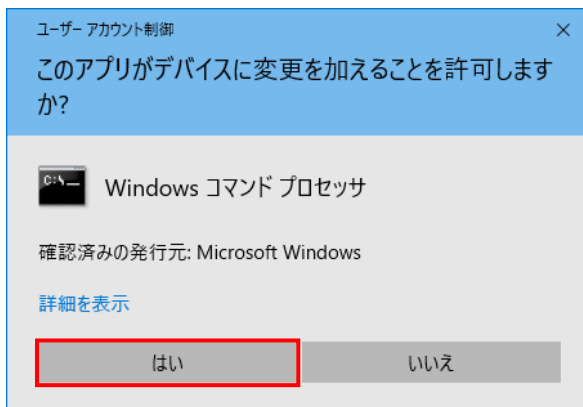
7.3. コマンドプロンプト

前項以外のコマンドを実行するために使用します。コンピュータに詳しい方のみ使用してください。

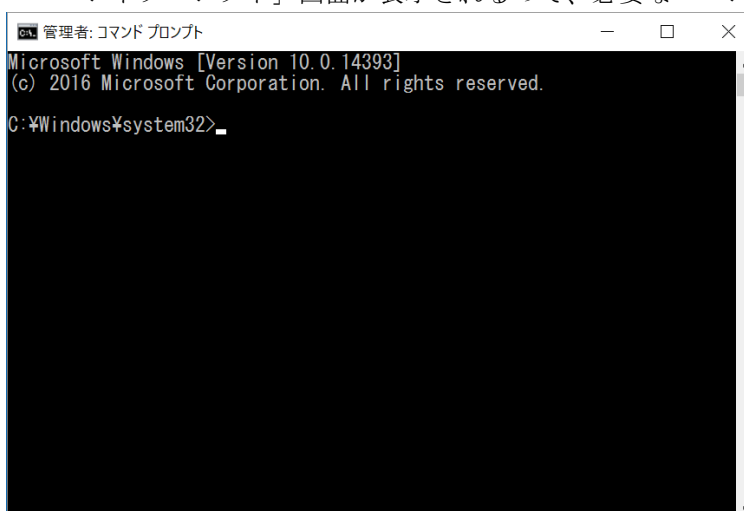
- (1) デスクトップの「OS 設定」→「確認ツール」→「コマンド プロンプト」をダブルクリックします。



- (2) 「はい」をクリックします。



- (3) 「コマンドプロンプト」画面が表示されるので、必要なコマンドを入力してください。

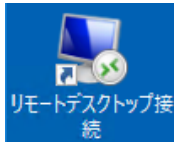


8. MC3000 を踏み台として利用する

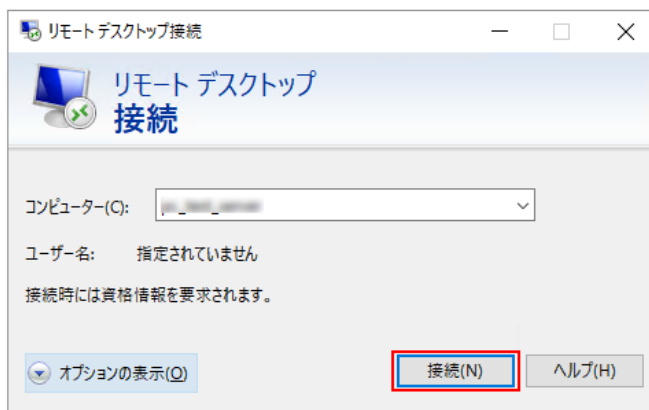
本章では MC3000 を踏み台として、社内ネットワークにある PC やサーバに対して、リモートデスクトップや SSH で接続する手順について説明します。

8.1. リモートデスクトップ接続

- (1) デスクトップの「リモートデスクトップ接続」アイコンをダブルクリックします。



- (2) 「コンピュータ」にリモートデスクトップ接続したい社内の PC 名、または IP アドレスを入力し、「接続」をクリックします。

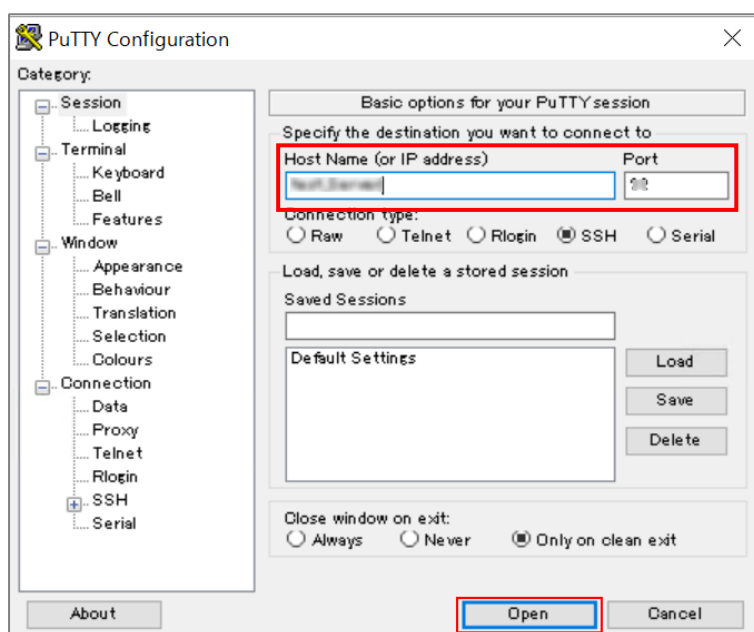


8.2. SSH 接続

- (1) デスクトップの「SSH」アイコンをダブルクリックします。



- (2) SSH で接続したい社内サーバなどの「Host Name」「Port」項目を入力し、「Open」をクリックします。



9. データを消去し廃棄する

本章では MC3000 のデータを消去し、廃棄する方法について説明します。

9.1. 保存されるデータと消去方法

MC3000 本体

MC3000 のネットワーク情報が保存されます。

本書「6.3. ネットワーク設定」の手順に従い、ネットワーク情報を削除してください。

MC3000 専用 USB メモリ

以下の情報が保存されます。

- WOL サーバに登録した対象 PC 情報
(本書「5. MC3000 の利用者を追加・変更・削除する」の設定情報)
- MC3000 用クライアントプログラムに設定した情報
(本書「4. MC3000 用クライアントプログラムの設定を変更する」の設定情報)
- SSH 接続で保存した情報
(本書「8.2. SSH 接続」の設定情報)

一般的な USB メモリと同様に、データ消去ソフトや物理破壊によってデータを消去してください。

9.2. 廃棄方法

自社ルールに従い、「サーバー機器」及び「USB メモリ」として廃棄してください。

10. 付録

10.1. ライセンス情報 (PuTTY)

MC3000 ではサードパーティ製のツールである PuTTY を利用しています。PuTTY のライセンス情報については以下の URL をご参照ください。

- PuTTY Licence

<https://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html>